

**第1会場**

ビッグサイトTFTホール1000 (西館2F)

9:30~9:35

**開会挨拶** 高久 史磨 (医療の質・安全学会 理事長)

9:35~9:50

**会長講演**

『過去14年を振り返り今後の医療安全を考える』

清水 利夫 (独立行政法人国立国際医療研究センター病院 副院長 医療安全推進部門長 外科)

10:00~10:50

**鼎談**

座長: 鮎澤 純子 (九州大学大学院 医学研究院)

『医療の質と安全を守り高めるチームづくりをめぐる』

山口 裕幸 (九州大学大学院人間環境学研究院 心理学講座)

11:00~12:00

**教育講演**

座長: 小泉 俊三 (財団法人東光会七条診療所、佐賀大学)

『現場の活力が生む医療の質と安全』

松村 啓史 (テルモ株式会社 取締役副社長)

13:10~14:10

**特別講演1**

座長: 清水 利夫 (独立行政法人国立国際医療研究センター病院)

『インフォームドコンセント ~医療者と患者のより良い関係を目指して~』

森岡 恭彦 (日本赤十字社医療センター 名誉院長/東京大学 名誉教授)

14:20~16:10

**シンポジウム1**

座長: 鮎澤 純子 (九州大学大学院 医学研究院)

『「医療質安全学」の確立 ~医療の質・安全に関する知識体系(BOK)の開発~』

1-1 私が考える医療質安全学の知識体系 ~学会誌編集委員長の立場から~

小泉 俊三

財団法人東光会七条診療所 所長/佐賀大学名誉教授

1-2 私が考える医療質安全学の知識体系 ~国際的潮流の中から~

上原 鳴夫

東北大学 名誉教授

1-3 私が考える医療安全学の知識体系～看護の立場から～

嶋森 好子

公益財団法人東京都看護協会

1-4 私が考える医療質安全学の知識体系～品質の専門家の立場から～

飯塚 悦功

東京大学 名誉教授

16:20～17:20

ミニシンポジウム1

座長：落合 慈之（NTT東日本関東病院）

『マイナンバーとアウトカム指標』

1-1 マイナンバー制度の導入と医療の質

森田 朗

学習院大学 法学部

1-2 国民の健康・安全の向上を目指した電子医療情報の利活用

近藤 達也

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

第2会場

ビッグサイトTFTホール500（西館2F）

10:00～12:00

シンポジウム2

座長：長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部）

飯塚 悦功（東京大学大学院）

『医療機器に関わる医療現場でのフラストレーション－競争の中の協力－』

2-1 薬事法改正について

藤田 倫寛

厚生労働省医薬食品局 審査管理課 医療機器審査管理室

2-2 「後工程は患者さん」～消費者として、サービス提供者としての医療者～

安田 あゆ子、野田 弘実、酒井 理恵子、北野 文将、長尾 能雅

名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部

2-3 医療現場と医療機器メーカーの意識の違いを埋めるための取り組みについて

三田 哲也

日本医療機器産業連合会 PMS委員会

2-4 医療機器のライフサイクルを重視した法制度の必要性について

飯田 隆太郎

日本医療機器産業連合会 法制委員会

12:00~12:50

**共催セミナー 1**

共催：第一三共株式会社

座長：井部 俊子（聖路加看護大学）

『WHOカリキュラムガイドに学ぶノンテクニカル スキルの重要性』

相馬 孝博（公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院）

14:20~16:20

**ワークショップ 1**

座長：井部 俊子（聖路加看護大学）

小林 美雪（山梨県立大学 看護学部）

『看護基礎教育において医療安全をどのように教えるか』

**1-1 医学教育における医療安全教育の実際と課題**

－WHO患者安全カリキュラムガイドラインをふまえて

江原 一雅

滋慶医療科学大学院大学 医療安全管理学専攻

**1-2 看護基礎教育における医療安全教育の取り組みの現状と課題**

衣川 さえ子

国際医療福祉大学小田原保健医療学部 看護学科

**1-3 WHO患者安全カリキュラムガイドの医療専門職の基礎教育への活用について**

相馬 孝博

公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院

16:30~18:00

**シンポジウム 3**

座長：埴岡 健一（東京大学 公共政策大学院）

『真実説明と謝罪を普及させよう』

**3-1 ハーバード大学医学部関連病院の視察で学んだこと**

伊藤 雅治

社団法人全国社会保険協会連合会

**3-2 赤十字病院における真実説明活動**

矢野 真

日本赤十字社 事業局

**3-3 全社連における真実説明・謝罪活動の今後について**

遠田 光子

社団法人全国社会保険協会連合会 事業部 患者安全推進室

**3-4 患者・医療事故被害者から見る真実説明「嘘をつかれた者の心理と行動」**

赤羽 幸生

陣痛促進剤による被害を考える会

- 3-5 医療事故調査制度における説明のあり方 現在の進捗状況について  
大坪 寛子  
厚生労働省医政局 総務課 医療安全推進室

第3会場

ビッグサイトTFTホール300 (西館2F)

10:00~12:00

シンポジウム4

座長：石川 雅彦 (公益社団法人地域医療振興協会地域医療安全推進センター)  
原田 賢治 (東京農工大学 保健管理センター)

『医療対話と相談支援のための組織間連携と人材養成の工夫』

- 4-1 医療対話・相談支援の充実に向けた組織間、地域における連携  
ーがん相談支援センター・がん診療連携拠点病院における体制づくり  
渡邊 清高、高山 智子、若尾 文彦  
国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報提供研究部
- 4-2 医療対話と相談支援の現状と取組み、そして展望  
幸田 有子  
秦野赤十字病院 総合相談室
- 4-3 横浜市医療安全相談窓口における組織間連携と人材育成  
東 健一  
横浜市健康福祉局 医療安全課
- 4-4 在宅医療を支える体制を創る ～地域組織と行政の連携で「在宅医療相談窓口」開設へ～  
武山 ゆかり、中辻 康博  
公益社団法人豊島区医師会 豊島区在宅医療相談窓口
- 4-5 支援者の支援  
水木 麻衣子  
東京大学大学院医学系研究科 医療安全管理学

12:00~12:50

共催セミナー 2

共催：MSD株式会社  
座長：三木 保 (東京医科大学病院脳神経外科 医療安全管理学)

『安全な手術のために 一転ばぬ先のブリディオ<sup>®</sup>ンー』

鈴木 利保 (東海大学医学部外科学系・診療部 麻酔科)

14:20~16:20

## シンポジウム5

座長：若尾 文彦（独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター）  
 新海 哲（国立病院機構四国がんセンター／医療法人社団康心会湘南東部総合病院）  
 福村 文雄（株式会社麻生飯塚病院 医療安全推進室）

## 『改善のための質評価 – 質評価指標の組織的活用 –』

- 5-1** 国立病院機構診療情報分析部で提供している臨床評価指標による質評価と改善（指標の開発と評価）  
 伏見 清秀<sup>1,2</sup>、本橋 隆子<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構本部総合研究センター 診療情報分析部、  
<sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院 医療政策情報学分野、<sup>3</sup>聖マリアンナ医科大学 予防医学教室
- 5-2** 臨床評価指標を活用した質改善の取り組み  
 手島 伸<sup>1</sup>、真野 浩<sup>1</sup>、小山 三恵子<sup>1</sup>、菊地 正子<sup>1</sup>、田所 慶一<sup>1</sup>、本橋 隆子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター、<sup>2</sup>国立病院機構本部総合研究センター 診療情報分析部
- 5-3** がん診療体制の質評価と改善 – 指標・方法論の開発 –  
 水流 聡子  
 東京大学大学院工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座
- 5-4** がん診療体制の質評価指標による質評価と改善 – 活用事例 –  
 尾澤 巖、清水 秀昭  
 栃木県立がんセンター
- 5-5** 地域全体の診療体制改善をめざして – 愛媛県がん診療連携協議会における情報共有と改善 –  
 青儀 健二郎<sup>1</sup>、水流 聡子<sup>2</sup>、若尾 文彦<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 臨床研究推進部、  
<sup>2</sup>東京大学大学院工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座、  
<sup>3</sup>国立がん研究センター がん対策情報センター
- 5-6** 当センターにおけるがん診療体制の質的評価と群馬県におけるがん診療体制均一化への試み  
 尾嶋 仁<sup>1</sup>、猿木 信裕<sup>2</sup>、塚本 憲史<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>群馬県立がんセンター 消化器外科、<sup>2</sup>群馬県立がんセンター 麻酔科、  
<sup>3</sup>群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター

16:30~18:00

## シンポジウム6

座長：古川 裕之（山口大学大学院医学系研究科／医学部附属病院 薬剤部）

## 『医療の質・安全と情報処理技術』

- 6-1** 病院のベッドサイド機器オンライン化標準を進めるIHE-PCDの安全への取り組み  
 近藤 博史  
 鳥取大学医学部附属病院 医療情報部
- 6-2** 電子カルテシステムと医療の質・安全：日米の対比  
 武田 裕  
 滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科 医療安全管理学専攻
- 6-3** 米国の医療政策と医療情報を用いた研究  
 川上 浩司  
 京都大学大学院医学研究科 薬剤疫学

第4会場

TFTビル東館9F・研修室908

10:00~11:30

シンポジウム7

座長：兼児 敏浩（三重大学医学部附属病院 医療安全・感染管理部）  
鳥谷部 真一（新潟大学医歯学総合病院 医療安全管理）

『医療安全と感染管理』

- 7-1 感染対策に安全管理部門が絡んで欲しいとき～日常業務からパンデミックへの対応まで～  
大曲 貴夫  
国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター
- 7-2 「介護施設における安全対策・感染対策」～どちらも私が管理者！～  
加藤 佳代子  
介護老人保健施設 ハートケア左近山
- 7-3 アウトブレイク時における安全部門と感染部門の連携  
～VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)アウトブレイクの経験から～  
柴原 美也子  
藤沢市民病院 医療安全対策室
- 7-4 院内感染で患者死亡！これは医療事故か？  
横山 貴之  
増田・横山法律事務所
- 7-5 安全対策と感染対策の連携の必要性  
相馬 孝博  
公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属榊原記念病院

12:00~12:50

共催セミナー3

共催：丸石製薬株式会社  
座長：尾崎 眞（東京女子医科大学 麻酔科）

『侵襲的処置、検査における鎮静 – 安全実施のためのminimum requirement –』

中川 雅史（社会保険紀南病院 麻酔科）

14:20~16:20

シンポジウム8

座長：大川 淳（東京医科歯科大学大学院 整形外科学）  
本間 寛（筑波大学附属病院 臨床医療管理部）

『低侵襲医療における合併症(有害事象)を減らすために必要なしくみ』

- 8-1 低侵襲治療におけるチーム医療の役割～IVRでの経験から～  
浅井 望美  
国立がん研究センター中央病院 外来第II領域

- 8-2** 内視鏡手術の安全性向上を目的とした手術器具の保守管理体制構築への取り組み  
 関川 智重<sup>1</sup>、子安 保喜<sup>2</sup>  
 四谷メディカルキューブ <sup>1</sup>臨床工学科 <sup>2</sup>ウィメンズセンター
- 8-3** 当センターの内視鏡的粘膜下層剥離術における合併症軽減の取り組み  
 櫻井 俊之、横井 千寿  
 国立国際医療研究センター 消化器内科
- 8-4** 安全なカテーテルアブレーション治療を目指して  
 高橋 淳  
 横須賀共済病院 循環器センター
- 8-5** 低侵襲医療における合併症を減らすために必要な仕組み ～IVR専門医の立場から  
 赤羽 正章  
 NTT東日本関東病院放射線部・科 部長
- 8-6** 麻酔科医からみた低侵襲医療における医療安全  
 ー麻酔・手術とペインクリニックのIAと医事紛争ー  
 横田 美幸  
 公益財団法人がん研究会 がん研有明病院

16:30～17:30

## ミニシンポジウム2

座長：原田 悦子（筑波大学 人間系心理学域）  
 三井 さよ（法政大学 社会学部）

『学際研究推進委員会「入門講座」報告：「最後のN週間を考える」』

- 2-1** 三井 さよ  
 法政大学 社会学部
- 2-2** 須藤 智  
 静岡大学
- 2-3** 阿久津 靖子  
 株式会社MTヘルスケアデザイン研究所

17:40～18:25

## 一般口演1 『ベトナムでの取り組み』

座長：三好 知明（独立行政法人国立国際医療研究センター 国際医療協力局）

- 1-1** ベトナムのチョーライ病院でのリスクマネジメントに関する活動について  
 ○チャン ボイ・ユイ  
 ベトナム国立チョー・ライ病院
- 1-2** ベトナム小児第一病院におけるPatient Safetyの取り組み  
 ○ゴ ゴック・クワン・ミン  
 ベトナム国立小児第一病院
- 1-3** ベトナムの病院における患者の安全性の状況と対策  
 ○グエン ハイ・イェン  
 ベトナム国保健省

- 1-4 活動報告ザンビア共和国HIV/エイズケアサービス管理展開プロジェクト臨床検査の質の改善  
○橋本 尚文  
独立行政法人国立国際医療研究センター 国際医療協力局 派遣協力第二課
- 1-5 途上国対象院内感染対策研修実施の10年と現在の課題  
○羽石 弓子、駒田 謙一、櫻田 紳策、蜂矢 正彦  
国立国際医療研究センター 国際医療協力局 派遣協力第二課

第5会場

TFTビル東館9F・研修室909

10:00~10:54

一般口演2 『転倒転落1』

座長：辻 博（黒部市民病院）

- 2-1 転倒予測と転倒後の事例分析(SHELL分析)の関連について  
○田中 正一  
医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 リハビリテーション科
- 2-2 再発事象解析に基づく転倒・転落事故防止手法の開発-1：リスク評価法  
○加藤 省吾<sup>1</sup>、福村 文雄<sup>2</sup>、林 真由美<sup>2</sup>、佐野 美和子<sup>2</sup>、水流 聡子<sup>1</sup>、飯塚 悦功<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東京大学大学院 工学系研究科、<sup>2</sup>飯塚病院 医療安全推進室、<sup>3</sup>東京大学
- 2-3 再発事象解析に基づく転倒・転落事故防止手法の開発-2：アセスメントシステム  
○加藤 省吾<sup>1</sup>、福村 文雄<sup>2</sup>、林 真由美<sup>2</sup>、佐野 美和子<sup>2</sup>、水流 聡子<sup>1</sup>、飯塚 悦功<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東京大学大学院 工学系研究科、<sup>2</sup>飯塚病院 医療安全推進室、<sup>3</sup>東京大学
- 2-4 歩行介護拒絶後に転倒した高齢者に対する説明と説得  
～横浜地判平成17年3月22日を手がかりに～  
○川原 由子  
広島都市学園大学 健康科学部 看護学科
- 2-5 中規模民間病院における外来での転倒転落事故発生状況の実態調査  
～インシデント・アクシデント報告書からの分析～  
○水野 香<sup>1</sup>、青木 容子<sup>1</sup>、千代 優紀<sup>1</sup>、長田谷 智愛<sup>1</sup>、大谷 順子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人元生会 森山病院、<sup>2</sup>旭川大学 保健福祉学部 保健看護学科
- 2-6 転倒・転落チェックシートによる転倒・転落要因の分析  
○岩切 美津子、秋好 美代子  
九州大学病院 医療安全管理部

11:00~11:45

一般口演3 『手術・CVC挿入』

座長：上田 裕一（奈良県医療政策参与）

- 3-1 教育ビデオの活用による本学での鏡視下手術の安全性向上とチーム医療の推進  
～ラパロチームの活動～  
○加藤 和泉<sup>1</sup>、長田 典子<sup>1</sup>、橋本 美保<sup>1</sup>、河手 香菜<sup>1</sup>、茂木 宏二<sup>1</sup>、市岡 恵美<sup>1</sup>、山元 直樹<sup>1</sup>、  
向後 加代子<sup>1</sup>、石橋 由朗<sup>1</sup>、小松 一祐<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学附属病院 手術部、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学 教育センター
- 3-2 医療行為に伴う説明文書の改訂  
○吉田 一博、古川 さとみ  
白十字病院 医療安全管理委員会

- 3-3 安全な中心静脈カテーテル管理を目指したCVC記録カード2年間の検討  
 ○西條 文人<sup>1,2</sup>、武藤 満完<sup>1</sup>、山田 佳緒里<sup>3</sup>、安倍 淑子<sup>2</sup>、大原 秀一<sup>2</sup>、徳村 弘実<sup>1</sup>、佐藤 克己<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東北労災病院 外科、<sup>2</sup>東北労災病院 医療安全対策委員会、<sup>3</sup>東北労災病院 院内感染対策委員会
- 3-4 研修医の侵襲的手技のライセンス制導入後経過報告  
 ○上原 元、本村 和久、高良 剛ロベルト、川平 由美、前泊 朋子  
 沖縄県立中部病院 医療安全管理室
- 3-5 指導的立場にある内科医師に対する超音波ガイド下中心静脈穿刺トレーニング(第2報)  
 ○徳嶺 譲芳<sup>1</sup>、福田 吉宏<sup>2</sup>、荻野 和秀<sup>3</sup>、今井 靖<sup>4</sup>、清川 哲志<sup>5</sup>、野上 晃司<sup>6</sup>、武藤 敏孝<sup>7</sup>、末田 善彦<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>誠馨会 千葉メディカルセンター 麻酔科、<sup>2</sup>誠馨会 千葉メディカルセンター 消化器内科、  
<sup>3</sup>鳥取大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター、<sup>4</sup>東京大学医学部附属病院 循環器内科、  
<sup>5</sup>国立病院機構 熊本医療センター 血液内科、<sup>6</sup>兵庫医科大学病院 内科学 下部消化管科、  
<sup>7</sup>小倉医療センター 血液内科、<sup>8</sup>沖縄県立中部病院 腎臓内科

12:00~12:50

共催セミナー 4

共催：株式会社メディコン

座長：松原 久裕（千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学）

『より安全な中心静脈カテーテル「PICC」の紹介 ～挿入手技と使用経験～』

榑崎 肇（北海道消化器科病院 外科）

14:20~15:14

一般口演 4 『転倒転落 2』

座長：小林 美亜（千葉大学大学院）

- 4-1 新棟移転に伴う転倒転落発生率の変化  
 ○高梨 典子、飯田 育子、和田 哲郎、矢藤 繁、堀内 学、山口 剛、中野 良仁、本間 寛  
 筑波大学附属病院 臨床医療管理部
- 4-2 転倒転落防止に向けたアセスメントスコアシートの評価  
 ○工藤 まゆみ、小室 智子、櫻村 暢一  
 医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 医療安全管理室
- 4-3 離床探知装置機(転倒むし®)の有効的な活用について  
 ○藤村 和樹、末安 木綿  
 財団法人恵愛会 聖隷富士病院 4階病棟
- 4-4 転倒転落に関連する看護ケア要素の実態調査  
 ○山口 今日子、吉田 ひとみ、後藤 昌昭  
 佐賀大学医学部附属病院
- 4-5 危険度が低い患者の転倒転落が発生する背景・要因の検証  
 ○吉田 雅子<sup>1,2</sup>、磯川 悦子<sup>2</sup>、小市 佳代子<sup>3</sup>、的場 匡亮<sup>1</sup>、上條 由美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>昭和大学大学院 保健医療学研究科、<sup>2</sup>昭和大学病院 看護部、<sup>3</sup>昭和大学病院 医療安全管理室
- 4-6 当センターにおける転倒・転落3b以上のアクシデント事例の分析  
 —過去3年間の事例を検討して—  
 ○池本 義子  
 日本赤十字社 和歌山医療センター

15:20~16:23

一般口演5 『転倒転落3』

座長: 杉山 良子 (パラマウントベッド株式会社)

- 5-1 看護師介助中の転倒事例の検証方法の一案  
—他の看護師は同じ想定でどのように介助をするのか—  
○寺山 美華、野沢 博子、市田 勝、泉 玲子、長谷川 剛、河野 龍太郎、浅田 義和、鈴木 義彦  
自治医科大学附属病院 医療安全対策部
- 5-2 乳房撮影における患者転倒防止への取り組み  
○山室 美佳<sup>1</sup>、山田 佳名子<sup>1</sup>、田川 翼<sup>1</sup>、西松 和彦<sup>1</sup>、山田 浩司<sup>1</sup>、宇佐美 公男<sup>1</sup>、辰巳 陽一<sup>2</sup>、  
山田 明子<sup>2</sup>、池上 博司<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学医学部附属病院 中央放射線部、<sup>2</sup>近畿大学医学部附属病院 安全管理室
- 5-3 夜勤介護職員の訪室実態把握 —転倒・転落事故の防止をねらって—  
○川上 勝<sup>1</sup>、野澤 翔馬<sup>2</sup>、尾崎 功一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>自治医科大学 看護学部、<sup>2</sup>宇都宮大学大学院 工学研究科
- 5-4 転倒・転落事故を報告した看護師の事故防止行動に対する認識  
～注意義務と危険回避の視点から～  
○山本 真由美  
国家公務員共済組合連合会 呉共済病院看護専門学校
- 5-5 転倒・転落予防を目指したベッド上および病室内での動作検出システムの開発  
—感圧センサと赤外線センサの利用—  
○高野倉 雅人<sup>1</sup>、上原 涼太郎<sup>1</sup>、三宅 将文<sup>1</sup>、西川 昌宏<sup>1</sup>、川上 勝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>神奈川大学 工学部、<sup>2</sup>自治医科大学 看護学部
- 5-6 簡易転倒・転落リスクアセスメントツールの評定者間一貫性  
○東恩納 美樹<sup>1</sup>、下地 孝子<sup>2</sup>、大嶺 千代美<sup>2</sup>、加治木 選江<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>琉球大学 医学部 保健学科、<sup>2</sup>琉球大学医学部附属病院 看護部
- 5-7 小児科病棟におけるサークルベッドからの転落に対する母親の危険意識  
○小山 美由紀、菅原 小百合、昆 千宣、畠山 なを子  
岩手県立磐井病院 小児科病棟

16:30~17:24

一般口演6 『転倒転落4』

座長: 加治木 選江 (琉球大学医学部附属病院)

- 6-1 転倒対策アルゴリズムの見直しによる改善効果について  
○甲斐 一光、柳田 和宏、小野 健史、小田 枝里、平田 耕太郎  
平田東九州病院
- 6-2 転倒・転落による有害事象の低減を目指して  
○中井 みつ江<sup>1</sup>、長島 明子<sup>2</sup>、渡部 樹子<sup>2</sup>、田久保 叔江<sup>2</sup>、藤田 美保<sup>2</sup>、石田 篤世<sup>1</sup>、菅 俊光<sup>3</sup>、正木 浩哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学附属滝井病院 医療安全管理部、<sup>2</sup>関西医科大学附属滝井病院 看護部、  
<sup>3</sup>関西医科大学附属滝井病院 リハビリテーション科
- 6-3 間違いだらけのアセスメント 転倒・転落事例から真の対策を考える  
○荻無里 千史<sup>1</sup>、礪石 浅治<sup>1</sup>、川上 弥生<sup>1</sup>、村田 幸枝<sup>2</sup>、高橋 祥子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 医療安全推進室、<sup>2</sup>社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 看護部
- 6-4 東北大学病院における転倒転落インシデントの現状報告  
○佐賀 利英<sup>1</sup>、及川 千代<sup>1</sup>、松田 千恵子<sup>2</sup>、藤盛 啓成<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学病院 医療安全推進室、<sup>2</sup>看護部

## 6-5 身体抑制低減に向けての取り組み

○増田 伊佐世、西村 知子、桜井 恵真  
 榛原総合病院 医療安全管理室

## 6-6 転倒転落防止対策に関する情報共有-予防から対策までのマニュアル実施

○平井 奈津子<sup>1</sup>、關 良充<sup>1</sup>、清原 鋼二<sup>2</sup>、石垣 淳子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東京北社会保険病院 医療安全管理室、<sup>2</sup>東京北社会保険病院 医療安全管理委員長、<sup>3</sup>東京北社会保険病院 看護部

17:30~18:24

## 一般口演7 『要因分析1』

座長: 夏目 隆史 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院)

## 7-1 医療における効果的な内部監査のための監査の視点の体系化とその活用に関する研究

○金子 雅明<sup>1</sup>、田中 宏明<sup>2</sup>

<sup>1</sup>青山学院大学 理工学部 経営システム工学科、<sup>2</sup>大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

## 7-2 背景要因に基づいたインシデント・アクシデント事例の分類 ~部署別安全対策の試み~

○山口 環、鈴木 一郎

日本赤十字社医療センター 医療安全推進室

## 7-3 インシデントレポートの要因分析 ~発生要因のカテゴリーから見た事故の特徴~

○山上 潤一<sup>1</sup>、松野 喜代子<sup>1</sup>、垣内 清美<sup>1</sup>、濱口 紀子<sup>1</sup>、杉岡 篤<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>藤田保健衛生大学病院 医療の質・安全対策部 安全管理室、<sup>2</sup>藤田保健衛生大学 医学部 肝・脾外科学

## 7-4 医療安全管理体制再構築のための実態調査と医療の質・安全管理システムの開発

○北野 達也<sup>1</sup>、関田 康慶<sup>2</sup>、柿沼 倫弘<sup>2</sup>、佐藤 美喜子<sup>3</sup>、石垣 政裕<sup>3</sup>、渡辺 正見<sup>4</sup>

<sup>1</sup>星城大学 経営学部 健康マネジメント系 医療マネジメントコース/

星城大学大学院 健康支援学研究科 医療安全管理学講座、

<sup>2</sup>東北福祉大学 健康科学部 医療経営管理学科、<sup>3</sup>東北大学大学院 経済学研究科、<sup>4</sup>アウトカムマネジメント研究所

## 7-5 関中央病院医療安全対策の取り組み -SST活動報告-

○亀山 泰信<sup>1</sup>、石木 直美<sup>2</sup>、石原 弘美<sup>2</sup>、渡辺 佳美<sup>2</sup>、長屋 由美<sup>2</sup>、山中 ひろみ<sup>2</sup>、酒向 幸<sup>3</sup>、吉村 成雅<sup>4</sup>、植松 孝広<sup>5</sup>、齊藤 雅也<sup>5</sup>

<sup>1</sup>医療法人香徳会 関中央病院 医療安全管理部、<sup>2</sup>看護部、<sup>3</sup>薬剤科、<sup>4</sup>放射線科、<sup>5</sup>内科

## 7-6 インシデント・アクシデント発生要因の分析から見る再発防止にむけた今後の課題

○二瓶 洋子<sup>1</sup>、柿沼 倫弘<sup>2</sup>、上西 智子<sup>3</sup>、北野 達也<sup>4</sup>、関田 康慶<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科、<sup>2</sup>東北福祉大学 健康科学部 医療経営管理学科、

<sup>3</sup>東北大学大学院 経済学研究科、<sup>4</sup>星城大学大学院 健康支援学研究科

第6会場

TFTビル東館9F・会議室9-A

10:00~10:45

一般口演8 『検査／診断』

座長：永井 弥生（群馬大学医学部附属病院 医療安全管理部）

- 8-1 手術件数増加とともに施行数が増加している心エコー検査の業務負担  
○市田 勝、野澤 博子、寺山 美華、浅田 義和、鈴木 義彦、泉 玲子、河野 龍太郎、長谷川 剛  
自治医科大学附属病院 医療安全対策部
- 8-2 造影検査・MRI検査の問診システム見直し  
○工藤 慶太<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>社会事業協会 余市病院 医療安全対策委員会、<sup>2</sup>社会事業協会 余市病院 診療放射線科
- 8-3 検体検査部門におけるインシデントの解析  
○遠藤 美紀子、二村 亜子、牧 俊哉、永山 円、浅井 祥之、山中 泰子、加藤 秀樹、今枝 俊輔、  
山岸 宏江、湯浅 典博  
名古屋第一赤十字病院 検査部
- 8-4 穿刺液で複数オーダーがある場合の検体提出方法について  
○瀬古 周子、川島 誠、伊藤 守、都築 豊徳、野中 知子、小瀬 裕美子  
名古屋第二赤十字病院 医療技術部 検査病理科
- 8-5 血管造影検査室の業務効率化をめざした検査進行状況モニタシステムの作成  
○林 秀隆<sup>1,5</sup>、友金 幹視<sup>2,5</sup>、吉田 秀人<sup>3,5</sup>、鎌塚 尚子<sup>4,5</sup>、玉井 佐知子<sup>5</sup>、小野 ひとみ<sup>5</sup>、末長 敏彦<sup>5,6</sup>、  
錦 成郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>天理よろづ相談所病院 放射線部、<sup>2</sup>天理よろづ相談所病院 薬剤部、<sup>3</sup>天理よろづ相談所病院 臨床病理部、  
<sup>4</sup>天理よろづ相談所病院 看護部、<sup>5</sup>天理よろづ相談所病院 医療安全管理室、<sup>6</sup>天理よろづ相談所病院 神経内科

11:00~11:54

一般口演9 『事例報告・事例研究』

座長：佐藤 景二（静岡市立静岡病院）

- 9-1 安全な経口摂取を継続するための取り組み  
○鶴田 りか<sup>1</sup>、中島 栄子<sup>1</sup>、井手 睦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>聖マリア病院 リハビリテーション室 言語聴覚療法部門、<sup>2</sup>聖マリア病院 リハビリテーション科
- 9-2 当院の輸液ポンプ不具合事例報告からみた問題点  
○目黒 勉<sup>1</sup>、深谷 隆史<sup>1</sup>、小川 竜徳<sup>1</sup>、高野 太輔<sup>1</sup>、佐藤 元彦<sup>1</sup>、鈴木 美和<sup>2</sup>、前原 康宏<sup>3</sup>、清水 利夫<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>国立国際医療研究センター 医療安全推進部門 臨床工学技士、<sup>2</sup>医療安全管理師長、<sup>3</sup>医長安全推進室長、  
<sup>4</sup>医療安全推進部門長・副院長
- 9-3 透析終了業務時におこったコミュニケーションエラーについてTeamSTEPPSで振り返る  
○河村 明子<sup>1</sup>、六条 律子<sup>1</sup>、山田 明子<sup>2</sup>、谷山 佳弘<sup>3</sup>、辰巳 陽一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学医学部附属病院 人工透析部、<sup>2</sup>近畿大学医学部附属病院 医療安全対策室、  
<sup>3</sup>近畿大学医学部附属病院 腎臓内科
- 9-4 家族が行った終末期在宅看取り医療コーディネーション好事例の考察  
○宮崎 詩子<sup>1</sup>、水木 麻衣子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>患者家族対話推進協会、<sup>2</sup>東京大学大学院 医学系研究科 医療安全管理学
- 9-5 ECMO装着下患者に対する人工呼吸器回路組み間違い事例とその対策  
○岩本 典生<sup>1</sup>、草浦 理恵<sup>1</sup>、梅田 千典<sup>1</sup>、小藤 誠也<sup>1</sup>、安藤 勝信<sup>1</sup>、百瀬 直樹<sup>1</sup>、亀森 康子<sup>2</sup>、  
遠山 信幸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部、  
<sup>2</sup>自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室

## 9-6 在宅注射での家庭内針刺し損傷

○薬師寺 史厚<sup>1,7</sup>、木下 博之<sup>1</sup>、安田 睦子<sup>1</sup>、石堂 均<sup>2</sup>、藤田 浩<sup>3</sup>、廣井 直樹<sup>4</sup>、定本 清美<sup>5</sup>、柳川 忠二<sup>6</sup>、吉川 徹<sup>7</sup>

<sup>1</sup>東京都立墨東病院 内科、<sup>2</sup>東京都立産業技術研究センター、<sup>3</sup>東京都立墨東病院 輸血科、<sup>4</sup>東邦大学医学部、<sup>5</sup>横浜薬科大学 薬学部、<sup>6</sup>東邦大学 薬学部、<sup>7</sup>労働科学研究所

12:00~12:50

## ミニセミナー

座長：種田 憲一郎（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部地域医療システム研究分野）

『医療におけるBowTie(蝶ネクタイ)リスク評価法の活用  
(Applying the BowTie risk assessment methodology in healthcare)』

Pieter Weijand (Director of Business Development, BowTieMED)

14:20~15:14

## 一般口演 10 『教育・育成 1』

座長：中村 浩規（国家公務員共済組合連合会 東北公済病院）

## 10-1 患者確認に関する医療安全教育の効果

○團 寛子、圓見 千代、田中 宏明、服部 高子、上間 あおい、池尻 朋、長浜 宗敏、高橋 りょう子、中島 和江

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

## 10-2 医療安全教育実施後の効果的な継続学習の取り組み

○松田 亜由美<sup>1</sup>、石川 雅彦<sup>2</sup>、齊藤 奈緒美<sup>2</sup>

<sup>1</sup>北海道社会事業協会 帯広看護専門学校、<sup>2</sup>公益社団法人地域医療振興協会 地域医療安全推進センター

## 10-3 ルール忘却の予防行動への動機づけを意図した安全講習会の試行

○甲斐 由紀子<sup>1</sup>、小川 泰右<sup>2</sup>、崔 亮<sup>2</sup>、于 海闊<sup>2</sup>、池田 満<sup>2</sup>、鈴木 斎王<sup>3</sup>、林 克裕<sup>4</sup>

<sup>1</sup>宮崎大学 医学部 看護学科 基礎看護学講座、<sup>2</sup>北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科、<sup>3</sup>宮崎大学医学部附属病院 医療情報部、<sup>4</sup>宮崎大学 医学教育改革推進センター

## 10-4 業務経験から見た血液透析業務マニュアルの文書読取における情報獲得の特徴

○安部 貴之<sup>1</sup>、鈴木 聡<sup>1</sup>、村上 淳<sup>1</sup>、秋葉 隆<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京女子医科大学 臨床工学部、<sup>2</sup>東京女子医科大学 血液浄化療法科

## 10-5 タブレット端末を利用した看護場面KYT学習ツールの評価

○島崎 敢<sup>1</sup>、中村 愛<sup>2</sup>、笠原 康代<sup>3</sup>、伊藤 輔<sup>2</sup>、三品 誠<sup>4</sup>、石田 敏郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>早稲田大学 人間科学学術院、<sup>2</sup>早稲田大学大学院 人間科学研究科、<sup>3</sup>首都大学東京 健康福祉学部 看護学科、<sup>4</sup>有限会社サイビジョン

## 10-6 AHA Family &amp; Friendsコースを利用したAED研修：

チェックリストを用いた運動技能評価とフィードバックの利用と効果

○浅田 義和<sup>1</sup>、野沢 博子<sup>2</sup>、寺山 美華<sup>2</sup>、市田 勝<sup>2</sup>、阿野 正樹<sup>3</sup>、谷島 雅子<sup>4</sup>、岡田 裕美<sup>5</sup>、鈴木 義彦<sup>1</sup>、長谷川 剛<sup>2</sup>、青木 太郎<sup>6</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学 メディカルシミュレーションセンター、<sup>2</sup>自治医科大学 医療安全対策部、

<sup>3</sup>自治医科大学 医学部 救急医学講座、<sup>4</sup>自治医科大学附属病院 救急救命センター、

<sup>5</sup>自治医科大学附属病院 集中治療部、<sup>6</sup>日本BLS協会

15:20~16:14

一般口演11 『教育・育成2』

座長：小茂田 昌代（東京理科大学 薬学部）

- 11-1 医療安全研修を通してのインシデントレポートに対する意識の調査  
—新人オリエンテーション・フォローアップ研修前後の比較—  
○後藤 小百合  
埼玉医科大学総合医療センター 医療安全対策室
- 11-2 医学部(医学科看護学科)教育における医療訴訟模擬証人尋問の試み  
○大磯 義一郎<sup>1</sup>、富永 愛<sup>2</sup>、小島 崇宏<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>浜松医科大学 医学部 法学、<sup>2</sup>富永愛法律事務所、<sup>3</sup>北浜法律事務所
- 11-3 認知症の周辺症状を呈する患者に対する看護師の意識と行動の変化  
—ロールプレイを試みて—  
○愛川 征裕、今野 和代、西山 美江子  
いわき市立総合磐城共立病院 看護部
- 11-4 医療シミュレーションでのインストラクターの指導能力向上のための方略  
～インストラクショナルデザインを用いた科学的根拠のある学習内容の構築～  
○大石 奨<sup>1</sup>、宮道 亮輔<sup>2</sup>、真弓 俊彦<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>豊田市消防本部、<sup>2</sup>聖路加国際病院 救急部、<sup>3</sup>産業医科大学 救急医学講座
- 11-5 急性期病院の外来看護師を対象とした医療コンフリクト・マネジメント概念に基づく  
体験的研修の取り組みと成果、課題  
○荒神 裕之<sup>1,2</sup>、西川 英子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>全国土木建築国民健康保険組合 総合病院 厚生中央病院 医療安全管理室、<sup>2</sup>東京医科大学 公衆衛生学講座、  
<sup>3</sup>全国土木建築国民健康保険組合 総合病院 厚生中央病院 看護部
- 11-6 手術室におけるKYTとインシデントレポートKYTの効果  
○渡辺 安代  
東北公済病院 手術室

16:20~17:14

一般口演12 『教育・育成3』

座長：團 寛子（大阪大学医学部附属病院）

- 12-1 歯科医療従事者の医療関連感染リスク認知  
○中村 愛<sup>1</sup>、長富 美香<sup>2</sup>、島崎 敢<sup>3</sup>、三品 誠<sup>4</sup>、石田 敏郎<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>早稲田大学大学院 人間科学研究科、<sup>2</sup>すみれ歯科、<sup>3</sup>早稲田大学 人間科学学術院、<sup>4</sup>有限会社サイビジョン
- 12-2 初期研修医に対するFace to faceの医療安全教育とその成果  
○遠山 信幸、亀森 康子、桑原 菜穂子  
自治医科大学 さいたま医療センター 医療安全管理室
- 12-3 医療施設におけるKYT介入実践に関する縦断的研究(3) —実践期の継続要因の探索—  
○犬飼 智子<sup>1</sup>、兵藤 好美<sup>2</sup>、田中 共子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科、<sup>2</sup>岡山大学大学院 保健学研究科、<sup>3</sup>岡山大学大学院 社会文化科学研究科
- 12-4 部署リスクマネージャーの計画的育成に関する検討  
○石川 雅彦、斉藤 奈緒美  
公益社団法人地域医療振興協会 地域医療安全推進センター
- 12-5 大学生における予防接種の認識と適切な情報伝達手段に関する分析  
○森 亘平<sup>1</sup>、小野 薫<sup>1</sup>、大島 和馬<sup>1</sup>、奥澤 平明<sup>1</sup>、石岡 千昂<sup>1</sup>、大磯 義一郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>浜松医科大学 医学部 医学科、<sup>2</sup>浜松医科大学 医学部 法学研究室

12-6 輸液ポンプ・シリンジポンプ新人看護職員研修10年の歩みとこれから  
～シミュレーション研修の成果と今後の課題～○稲吉 礼子<sup>1</sup>、谷杉 裕代<sup>1</sup>、黒川 美知代<sup>2</sup><sup>1</sup>武蔵野赤十字病院 看護部、<sup>2</sup>武蔵野赤十字病院 医療安全推進室

## 17:20～18:14

## 一般口演13 『要因分析2』

座長：海渡 健（東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部 医療安全推進室）

## 13-1 転倒・転落事故防止の取り組み～事故防止DVDの活用と事故後カンファレンス～

○林 真由美、佐野 美和子、福村 文雄

飯塚病院

## 13-2 療養型病院におけるインシデント報告の分析ー表皮剥離に対する対策ー

○飯島 久子、志田 洋、土屋 健人、長田 るり子、仙北 雅美

医療法人社団駿栄会 御殿場石川病院

13-3 2年間のインシデント・アクシデント統計種類分析から見えてきたもの  
～再発防止策のRCA(根本原因分析)再評価を行って～○井手尾 伸一<sup>1</sup>、井上 都美子<sup>2</sup>、宇野 和美<sup>2</sup><sup>1</sup>健和会大手町病院 看護部 救急外来、<sup>2</sup>健和会大手町病院 医療安全管理室

## 13-4 ケアミックス病院でのインシデントアクシデント報告制度の再設計

○多田 斉

特定医療法人原土井病院

## 13-5 医療機関における、ヒューマンエラーの背景因子とストレスの解析

○塩坂 史野<sup>1</sup>、松田 延身<sup>2</sup><sup>1</sup>(株)バックナレッジ、<sup>2</sup>医療法人社団法樹会 松田眼科クリニック

## 13-6 インシデント分析による効果的な再発防止の立案を試みて

○小谷 一也、長谷川 真実、堀川 葉弥子

済生会兵庫県病院 看護部

## 第7会場

## TFTビル東館9F・研修室904

## 10:00～10:54

## 一般口演14 『医療情報管理』

座長：棟近 雅彦（早稲田大学理工学術院）

## 14-1 医療における文書管理システムの導入・推進モデル

○金子 雅明<sup>1</sup>、香西 瑞穂<sup>2</sup>、田中 宏明<sup>3</sup><sup>1</sup>青山学院大学 理工学部 経営システム工学科、<sup>2</sup>医療法人医誠会 城東中央病院 TQM推進室、<sup>3</sup>大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部14-2 血糖測定とインスリン注射依頼が連動したPOCTシステム導入による、血糖管理関連業務の  
時間削減とインシデント防止効果○長谷川 義高<sup>1</sup>、宮本 麻衣子<sup>1</sup>、山田 杏奈<sup>1</sup>、梅田 大視<sup>1</sup>、山守 越子<sup>1</sup>、佐藤 良美<sup>2</sup>、田村 茂幸<sup>3</sup><sup>1</sup>JA愛知厚生連 海南病院 糖尿病・内分泌内科、<sup>2</sup>JA愛知厚生連 海南病院 検査科、<sup>3</sup>JA愛知厚生連 海南病院 医療情報室

## 14-3 医療事故情報の非構造化データにおける特徴語抽出の再考

○魏 (王其)、秋山 昌範

東京大学 政策ビジョン研究センター

- 14-4 電子カルテ用端末を利用した機器マニュアル閲覧システムの構築  
○山田 昌子<sup>1</sup>、加藤 隆史<sup>1</sup>、岩田 英城<sup>1</sup>、濱口 直美<sup>2</sup>、水谷 泰子<sup>2</sup>、兼兒 敏浩<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 臨床工学部、<sup>2</sup>三重大学医学部附属病院 医療安全・感染管理部
- 14-5 ACS・AMI分類DPCデータ(MDC050030)を用いた臨床評価指標のベンチマーク分析  
○山田 悠史<sup>1</sup>、藤谷 茂樹<sup>2</sup>、筒泉 貴彦<sup>1</sup>、福田 行弘<sup>3</sup>、立花 一幸<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>練馬光が丘病院 総合診療科、<sup>2</sup>東京ベイ浦安市川医療センター、<sup>3</sup>市立大村市民病院
- 14-6 医療文書管理システム(DACS)機能付加による入院イベント関連文書の量的監査とその意義  
○武田 裕<sup>1</sup>、松村 泰志<sup>2</sup>、武田 理宏<sup>2</sup>、上田 郁奈代<sup>2</sup>、藤井 歩美<sup>2</sup>、倉林 則之<sup>3</sup>、山口 功<sup>3</sup>、近藤 学<sup>3</sup>、畑仲 俊彦<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻、<sup>2</sup>大阪大学大学院 医学系研究科、<sup>3</sup>富士ゼロックス株式会社

11:00~11:54

一般口演 15 『リハビリ・栄養』 座長：高津 茂樹（雪の聖母会聖マリア病院 リハビリテーションセンター）

- 15-1 後鼻孔ロック固定法を用いた経鼻胃管事故抜去予防の検討  
○上前泊 功<sup>1,2</sup>、和田 哲郎<sup>2</sup>、田淵 経司<sup>2</sup>、田中 秀峰<sup>2</sup>、西村 文吾<sup>2</sup>、大原 浩達<sup>2</sup>、林 健太郎<sup>1</sup>、高橋 邦明<sup>1</sup>、原 晃<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>茨城県立中央病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、<sup>2</sup>筑波大学附属病院 耳鼻咽喉科
- 15-2 新生児における計画的胃管交換に対するsky blue法の有用性  
○今村 孝<sup>1</sup>、前田 創<sup>1</sup>、木下 英俊<sup>1</sup>、澁川 靖子<sup>1</sup>、須田 喜代美<sup>2</sup>、福田 豊<sup>1</sup>、長澤 克俊<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>竹田総合病院 小児科、<sup>2</sup>竹田総合病院 医療安全管理室
- 15-3 嚥下リハビリテーションにおける質保証のための言語聴覚士間の差異計測と改善—PCAPSを用いた嚥下リハビリテーションの可視化と問題点—  
○中島 栄子<sup>1</sup>、井手 睦<sup>2</sup>、小林 翔平<sup>4</sup>、加藤 省吾<sup>3</sup>、水流 聡子<sup>3</sup>、脇坂 勇輝<sup>1</sup>、前田 亮介<sup>1</sup>、大塚 渉<sup>1</sup>、江頭 陽子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 リハビリテーション室、<sup>2</sup>聖マリア病院 リハビリテーション科、<sup>3</sup>東京大学大学院 工学系研究科、<sup>4</sup>東京大学 工学部
- 15-4 PCAPS(患者状態適応型パス)を用いたSTによる嚥下リハビリテーションのプロセスの可視化について～当院の脳卒中患者に適応させた検討～  
○前田 知美<sup>1</sup>、井上 浩子<sup>1</sup>、江口 美千子<sup>1</sup>、栗田 芳宏<sup>1</sup>、石永 宏一<sup>1</sup>、熊谷 拓弥<sup>1</sup>、本村 大輔<sup>1</sup>、黒木 洋美<sup>1</sup>、水流 聡子<sup>2</sup>、加藤 省吾<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>東京大学大学院 工学系研究科
- 15-5 医療安全のための栄養部の取り組み～日々の業務に置き換えたスライドを使用して～  
○菅野 真美<sup>1</sup>、梶原 克美<sup>1</sup>、古井 春男<sup>1</sup>、井本 和明<sup>1</sup>、西村 町子<sup>1</sup>、宮本 アキ<sup>2</sup>、山田 明子<sup>2</sup>、辰巳 陽一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学医学部附属病院 栄養部、<sup>2</sup>安全管理部
- 15-6 食物禁忌情報の不一致抽出と患者食物禁忌入力画面構成変更による安全な食事提供への改善  
○井堀 園美<sup>1</sup>、葦津 幸子<sup>1</sup>、坂本 みどり<sup>2</sup>、北沢 太郎<sup>3</sup>、内田 義則<sup>3</sup>、小田 洋一郎<sup>4</sup>、望月 孝俊<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>茅ヶ崎市立病院 栄養科、<sup>2</sup>茅ヶ崎市立病院 医療安全管理室、<sup>3</sup>茅ヶ崎市立病院 医療情報管理室、<sup>4</sup>茅ヶ崎市立病院 小児科

14:20~15:14

一般口演 16 『医療機器1』 座長：江守 直美（福井大学医学部附属病院）

- 16-1 輸液速度の精度管理～輸液ポンプと輸液ラインの適合性評価・第二報～  
○久保 景子、福本 秀知、成田 龍一、津久井 悠  
独立行政法人国立がん研究センター中央病院 手術室

- 16-2 透析装置における静脈圧下限警報設定の検討  
○植村 進<sup>1,4</sup>、柳谷 晶仁<sup>2</sup>、榊原 典幸<sup>3</sup>、梁井 史子<sup>1</sup>、野崎 秀介<sup>1</sup>、田野 篤<sup>3,4</sup>、湊 千笑<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人母恋 日鋼記念病院 医療安全対策室、<sup>2</sup>社会医療法人母恋 日鋼記念病院 医療安全管理部、  
<sup>3</sup>社会医療法人母恋 日鋼記念病院 医療安全対策委員会、<sup>4</sup>社会医療法人母恋 日鋼記念病院 臨床工学室
- 16-3 経年劣化によるロック式コンセントの保持力低下の把握  
○寺本 圭吾、鈴木 茂樹  
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 医療技術部 ME室
- 16-4 包絡分析法を用いた臨床工学技士の医療機器安全管理業務配分の最適化  
○福田 将誉<sup>1</sup>、菅尾 英木<sup>1</sup>、伊佐田 文彦<sup>2</sup>、小野 哲章<sup>3</sup>、武田 裕<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>箕面市立病院 臨床工学部、<sup>2</sup>関西大学 総合情報部、<sup>3</sup>滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科
- 16-5 麻酔器の呼吸回路を再使用した後に発生した隔壁損傷  
○徳道 久就<sup>1</sup>、山口 晋<sup>1</sup>、喜渡 純平<sup>1</sup>、永井 守<sup>1</sup>、田中 果絵<sup>1</sup>、笹山 真一<sup>1</sup>、能登 明子<sup>2</sup>、  
広野 靖子<sup>3</sup>、辻 博<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>黒部市民病院 医療技術部 臨床工学科、<sup>2</sup>黒部市民病院 感染対策室、<sup>3</sup>黒部市民病院 医療安全対策室
- 16-6 ヒヤリ・ハット報告を利用した手術用機器に対する安全管理  
○安原 洋<sup>1</sup>、小森 正智<sup>2</sup>、斎藤 祐平<sup>1</sup>、村越 智<sup>1</sup>、小松 孝美<sup>1</sup>、深柄 和彦<sup>1</sup>、上寺 祐之<sup>3</sup>、吉田 謙一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院 手術部、<sup>2</sup>東京大学 医学部 法医学教室、<sup>3</sup>東京大学 医学部 総合滅菌システム管理学

15:20~16:14

## 一般口演17 『医療機器2』

座長：吉岡 慎一（兵庫県立西宮病院 外科）

- 17-1 軟性内視鏡内腔洗浄における用手的予備洗浄の評価用デバイスの作成とその評価  
○池田 誠<sup>1</sup>、高階 雅紀<sup>2</sup>、木内 淳子<sup>1</sup>、本田 宏志<sup>3</sup>、村上 真通<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻、  
<sup>2</sup>大阪大学医学部附属病院 材料部・手術部・MEサービス部、<sup>3</sup>株式会社ニチオン
- 17-2 危機的大出血時に用いる安全なローラーポンプ式急速輸液装置開発への取り組み  
○武富 太郎<sup>1</sup>、田中 紘一<sup>2</sup>、松田 暉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>加古川東市民病院、<sup>2</sup>神戸国際医療交流財団
- 17-3 当院における手動式蘇生用バッグ運用方法の改善  
○喜渡 純平<sup>1</sup>、山口 晋<sup>1</sup>、永井 守<sup>1</sup>、徳道 久就<sup>1</sup>、田中 果絵<sup>1</sup>、笹山 真一<sup>1</sup>、能登 明子<sup>2</sup>、  
廣野 靖子<sup>3</sup>、辻 博<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>黒部市民病院 医療技術部 臨床工学科、<sup>2</sup>黒部市民病院 感染対策室、<sup>3</sup>黒部市民病院 医療安全管理室
- 17-4 医療機器の不具合減少のための取り組み  
○岩藤 晋、坂手 克彰  
岡山大学病院 ME機器センター
- 17-5 臨床工学技士による輸液ポンプ、シリンジポンプの中央管理を始めて  
○古川 徹、阿部 麻理奈、田村 和久、遠藤 淳弘  
北海道社会事業協会 余市病院 臨床工学室
- 17-6 全身麻酔下手術のドレーンに関するインシデントの疫学  
○久田 友治  
琉球大学医学部附属病院 手術部

16:20~17:14

一般口演18 『医療機器3』

座長：前原 康宏（独立行政法人国立国際医療研究センター病院）

- 18-1 医療機器定期点検時における接地漏れ電流異常が複合的原因であった事例への対応  
○西本 拓真、高田 裕、中井 紀裕、芥子 健治  
近畿大学医学部附属病院 臨床工学部
- 18-2 輸液ポンプのヒストリ機能を利用した現状把握と今後の課題  
○成水 真利、福嶋 由実、今永 たか子  
医療法人社団春日会 黒木記念病院 臨床工学科
- 18-3 人工呼吸器の日常行動が起因となるインシデントへの取組み  
○加藤 大三<sup>1</sup>、大畑 雄咲<sup>1</sup>、濱田 直弥<sup>1</sup>、濱津 宏太<sup>1</sup>、橘 慎也<sup>1</sup>、山口 侑馬<sup>1</sup>、大江 理英<sup>2</sup>、小泉 希代子<sup>2</sup>、小牟田 清<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>一般財団法人大阪府警察協会 大阪警察病院 臨床工学課、  
<sup>2</sup>一般財団法人大阪府警察協会 大阪警察病院 呼吸療法チーム、  
<sup>3</sup>一般財団法人大阪府警察協会 大阪警察病院 医療安全管理センター
- 18-4 蘇生バッグの管理運用  
○岩藤 晋、坂手 克彰  
岡山大学病院 ME機器センター
- 18-5 医療用ガス設備における災害拠点病院の取組み  
○福井 健太郎、木原 敦夫、田丸 寿一  
大阪警察病院 事務部 施設課
- 18-6 移転に伴う医療ガスアウトレットの安全な更新移転に伴う医療ガスアウトレットの安全な更新～シュレーダー方式からピン方式へ～  
○鈴木 真美、藤田 博巳、新谷 弘幸  
地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 医療安全推進室

17:20~18:14

一般口演19 『手術・危険手技』

座長：中西 成元（虎の門病院）

- 19-1 手術終了を待つ患者の家族の思いと望む情報についての検討  
○菊地 和美  
東北公済病院 手術室
- 19-2 意識下でタイムアウトが行われる患者の思い  
○武山 悠菜、小笠原 香織、菊地 和美、渡辺 安代、守口 彩花、木村 かおる、加藤 裕子  
東北公済病院 手術室
- 19-3 輸血管理プロセスの安全性の検証と改善  
ー輸血出庫に関するヒヤリハット事例の分析と業務改善ー  
○原 桂<sup>1</sup>、黒田 徹<sup>1</sup>、児島 章<sup>1</sup>、吉田 和彦<sup>1</sup>、浅野 晃司<sup>1</sup>、落合 和徳<sup>1</sup>、下野 僚子<sup>2</sup>、水流 聡子<sup>2</sup>、棟近 雅彦<sup>3</sup>、飯塚 悦功<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 医療安全推進室、<sup>2</sup>東京大学大学院 工学系研究科、  
<sup>3</sup>早稲田大学 理工学術院
- 19-4 中心静脈カテーテルに関連した静脈血栓塞栓症のリスクマネジメント  
○保田 知生<sup>1</sup>、岩間 密<sup>2</sup>、安田 卓司<sup>2</sup>、竹山 宜典<sup>2</sup>、奥野 清隆<sup>2</sup>、山田 明子<sup>2</sup>、田中 俊夫<sup>2</sup>、大磯 直毅<sup>2</sup>、辰巳 陽一<sup>2</sup>、池上 博司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学医学部附属病院 安全管理部、<sup>2</sup>近畿大学医学部 外科、<sup>3</sup>大阪府立呼吸器・アレルギーセンター 外科

- 19-5 急性医療総合センター移転後の安全な入退室における取組み  
○堀田 牧代、北岡 令、埜澤 真奈美、藤木 彩香、加美 淡珠沙、藤本 陽子  
兵庫医科大学病院 看護部 手術センター
- 19-6 超緊急帝王切開へのシミュレーション訓練導入の有効性と問題点  
○水本 一弘<sup>1</sup>、中畑 克俊<sup>2</sup>、中山 美代子<sup>3</sup>、上田 恵子<sup>3</sup>、古川 福実<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進部・麻酔科、<sup>2</sup>和歌山県立医科大学附属病院 総合周産期母子センター、  
<sup>3</sup>和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進室、<sup>4</sup>和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進部

## 第8会場

## TFTビル東館9F・研修室905

10:00~10:54

## 一般口演20 『指標と調査』

座長：山崎 美智子（金沢医科大学 衛生学）

- 20-1 潜在的危機回避能力の3次元ベクトル評価モデル(RALモデル)の提唱  
○臼井 雄志  
中部大学 生命健康科学部 臨床工学科
- 20-2 わが国におけるプライマリケア医療機関である診療所に関する包括的質指標開発：  
概念枠組みに関するフォーカス・グループ調査  
○松村 真司<sup>1</sup>、小崎 真規子<sup>2</sup>、神谷 論<sup>3</sup>、外山 学<sup>4</sup>、東 尚弘<sup>5</sup>、尾藤 誠司<sup>1</sup>、和座 一弘<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 臨床疫学研究室、<sup>2</sup>堀川病院、  
<sup>3</sup>東京大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学、<sup>4</sup>益田診療所、  
<sup>5</sup>国立がん研究センター がん対策情報センター がん政策科学研究部、<sup>6</sup>わざクリニック
- 20-3 痛みのアセスメントの現状と課題 ～症状緩和評価シート充実のための意識調査～  
○外山 寿枝、小澤 征爾、松田 智子、平田 耕太郎  
平田東九州病院
- 20-4 学習する組織促進のための医療安全指標の構築  
○宮野 はるみ、三品 勉、木村 寛  
秋田県立大学 システム科学技術研究科
- 20-5 日本版の「がん診療体験調査票」の作成と妥当性の検討  
○高山 智子<sup>1</sup>、宮田 裕章<sup>2</sup>、八巻 知香子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>独)国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部、  
<sup>2</sup>東京大学大学院 医学系研究科 医療品質評価学講座
- 20-6 医療安全文化測定の全国調査に関する検討  
○廣瀬 昌博<sup>1</sup>、津田 佳彦<sup>2</sup>、塚本 篤<sup>2</sup>、江上 廣一<sup>2</sup>、本田 順一<sup>2</sup>、島 弘志<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>島根大学医学部附属病院 病院医学教育センター、<sup>2</sup>聖マリア病院 医療の質管理本部

11:00~11:45

## 一般口演21 『医療事故情報収集』

座長：北野 文将（名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部）

- 21-1 医療事故情報収集等事業の活動報告(4)～業務工程図研修会～  
○坂口 美佐<sup>1,3</sup>、坂井 浩美<sup>1</sup>、井上 純子<sup>1</sup>、篠崎 幸子<sup>1</sup>、後 信<sup>1</sup>、野本 亀久雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部、<sup>2</sup>公益財団法人日本医療機能評価機構、  
<sup>3</sup>金沢大学附属病院 麻酔科蘇生科

- 21-2 医療事故情報収集等事業の活動報告(1)～平成24年の活動の概要～  
○坂井 浩美<sup>1</sup>、井上 純子<sup>1</sup>、篠崎 幸子<sup>1</sup>、坂口 美佐<sup>1,3</sup>、後 信<sup>1</sup>、野本 亀久雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部、<sup>2</sup>公益財団法人日本医療機能評価機構、  
<sup>3</sup>金沢大学附属病院 麻酔科蘇生科
- 21-3 医療事故情報収集等事業の活動報告(3)～医療安全情報の類似事例の発生状況～  
○篠崎 幸子<sup>1</sup>、坂口 美佐<sup>1,3</sup>、坂井 浩美<sup>1</sup>、井上 純子<sup>1</sup>、後 信<sup>1</sup>、野本 亀久雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部、<sup>2</sup>公益財団法人日本医療機能評価機構、  
<sup>3</sup>金沢大学附属病院 麻酔科蘇生科
- 21-4 医療事故情報収集等事業の活動報告(2)～医療安全情報の作成の過程とパターン～  
○井上 純子、篠崎 幸子、坂口 美佐、坂井 浩美、後 信、野本 亀久雄  
公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
- 21-5 医療の安全、効率化、トレーサビリティの確保を求めて  
ーGS1ヘルスケアアジア協議会の活動を通してー  
○落合 慈之<sup>1</sup>、大江 和彦<sup>2</sup>、松谷 高顕<sup>3</sup>、松本 謙一<sup>4</sup>、渡辺 祐一<sup>5</sup>、関 則夫<sup>6</sup>、村井 博行<sup>7</sup>、東 竜一郎<sup>8</sup>、  
中田 精三<sup>9</sup>  
<sup>1</sup>NTT東日本関東病院、<sup>2</sup>東京大学 医療情報経済学、<sup>3</sup>日本医薬品卸業連合会、<sup>4</sup>サクラグローバルホールディングス、  
<sup>5</sup>MSD、<sup>6</sup>オリンパスメディカルシステムズ、<sup>7</sup>エーザイ物流、<sup>8</sup>サクラ精機、<sup>9</sup>市立伊丹病院

14:20～15:23

一般口演22 『地域連携』

座長：大井 利夫（上都賀総合病院）

- 22-1 医療・健康情報の質向上を目指して メディアドクター日本版の活動  
○渡邊 清高、秋元 秀俊、飯野 靖彦、石川 隆、北澤 京子、西田 博、保坂 隆、前村 聡、丸木 一成、  
本島 玲子  
メディアドクター研究会
- 22-2 地域におけるがん情報提供と普及支援に向けた取り組み  
ー患者必携「地域の療養情報」の作成支援を通してー  
○渡邊 清高<sup>1</sup>、浦久保 安輝子<sup>1</sup>、山崎 由美子<sup>1</sup>、大賀 有記<sup>1</sup>、篠田 雅幸<sup>2</sup>、清水 秀昭<sup>3</sup>、増田 昌人<sup>4</sup>、  
篠崎 勝則<sup>5</sup>、高山 智子<sup>1</sup>、若尾 文彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立がん研究センター がん対策情報センター、<sup>2</sup>愛知県がんセンター中央病院、<sup>3</sup>栃木県立がんセンター、  
<sup>4</sup>琉球大学医学部附属病院がんセンター、<sup>5</sup>県立広島病院
- 22-3 がん診療連携拠点病院における相談支援センターの相談員の役割に関する調査  
○大賀 有記、浦久保 安輝子、山崎 由美子、渡邊 清高、高山 智子、若尾 文彦  
独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター
- 22-4 福島県会津地域の県立病院間におけるインシデント情報共有の効果  
～医療安全プロジェクトチームの活動を通じて  
○斎藤 拓朗<sup>1</sup>、小山 美保子<sup>1,2</sup>、荻原 健英<sup>1,2</sup>、浅野 宏<sup>1</sup>、橋本 重厚<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学 会津医療センター、<sup>2</sup>福島県立会津総合病院、<sup>3</sup>福島県立医科大学 医療安全管理部
- 22-5 新人看護師教育のための医療安全eラーニング教材開発プロジェクト(OQT9)  
○奥津 康祐<sup>1</sup>、藤森 玲子<sup>2</sup>、今泉 光代<sup>3</sup>、帯金 秀行<sup>4</sup>、清水 恵子<sup>4</sup>、渡辺 久子<sup>5</sup>、深田 久子<sup>6</sup>、北原 克晃<sup>2</sup>、  
広瀬 ともみ<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>東京女子医科大学 医学部 医療・病院管理学、<sup>2</sup>北杜市立甲陽病院、<sup>3</sup>大月市立中央病院、<sup>4</sup>白根徳洲会病院、  
<sup>5</sup>山梨赤十字病院、<sup>6</sup>甲府共立病院、<sup>7</sup>市立甲府病院
- 22-6 医療安全管理者の地域ネットワークづくり(その2)ー弁護士との事例検討会の実施ー  
○坂本 佳代子、木曾田 恵子、平野 ひとみ、太田 由紀子、段林 照枝、橋口 茂代、成田 ユカリ、  
松岡 かほり、飯山 恵美、阿保 彩織  
兵庫県看護協会西播支部 災害・医療安全危機管理委員会

- 22-7 医療安全管理者の地域ネットワークづくり(その1)  
 一疲弊しない地域内の安全文化を醸成していくために—  
 坂本 佳代子、木曾田 恵子、平野 ひとみ、太田 由紀子、○段林 照枝、松岡 かほり、飯山 恵美、  
 阿保 彩織、橋口 茂代、成田 ユカリ  
 兵庫県看護協会西播支部 災害・医療完全危機管理委員会

15:30~16:24

## 一般口演23 『パス・標準化』

座長：丸山 雅道(岡山大学病院)

- 23-1 血管穿刺時の末梢神経損傷の予防・対応マニュアルと事故発生時の対応テンプレート作成の  
 試み—テンプレート使用例からの検討結果—  
 ○安井 敬三<sup>1</sup>、野中 知子<sup>2</sup>、小瀬 裕美子<sup>2</sup>、宮原 勝彦<sup>2</sup>、伊藤 義高<sup>2</sup>、佐藤 公治<sup>2,3</sup>、伊藤 守<sup>4</sup>、  
 長谷川 康博<sup>1</sup>、安藤 恒三郎<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>名古屋第二赤十字病院 神経内科、<sup>2</sup>名古屋第二赤十字病院 医療安全推進課、<sup>3</sup>名古屋第二赤十字病院 整形外科、  
<sup>4</sup>名古屋第二赤十字病院 検査病理課、<sup>5</sup>日本赤十字豊田看護大学
- 23-2 チェックリスト運用に基づく安全な中心静脈カテーテル挿入のための問題の抽出  
 ○藤原 優子<sup>1</sup>、貞岡 俊一<sup>1</sup>、三尾 寧<sup>1</sup>、近江 禎子<sup>1</sup>、藤原 喜美子<sup>1</sup>、美島 路恵<sup>1</sup>、下野 僚子<sup>2</sup>、水流 聡子<sup>2</sup>、  
 小川 武希<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学、<sup>2</sup>東京大学大学院 工学系研究科
- 23-3 2009ガイドラインに基づいた当院における脳梗塞クリティカルパス有用性について  
 ○黒木 誠、吉峯 朋子、柳田 和宏、秋田 恭輔、平田 耕太郎  
 平田東九州病院
- 23-4 侵襲的手技における運用可能な力量評価項目の導出方法の開発  
 ○下野 僚子<sup>1</sup>、名取 良弘<sup>2</sup>、永野 修司<sup>2</sup>、水流 聡子<sup>1</sup>、飯塚 悦功<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東京大学大学院 工学系研究科、<sup>2</sup>飯塚病院、<sup>3</sup>東京大学
- 23-5 輸液・シリンジポンプ使用認定看護師制度導入後の現状と課題  
 ○鈴木 利恵、鈴木 まゆみ、松井 早苗、川井 ひで子  
 前橋赤十字病院
- 23-6 異常発生時マニュアルの改善の経験  
 ○柿添 真由美<sup>1</sup>、宮本 郁美<sup>1</sup>、長谷部 圭司<sup>2</sup>、奥山 明彦<sup>1</sup>、寺川 直樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院、<sup>2</sup>北浜法律事務所・外国法共同事業

16:30~17:24

## 一般口演24 『標準化・業務改善』

座長：水本 一弘(和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進室)

- 24-1 PCAPSを用いた回復期リハ棟におけるリハ療法士の提供技術標準化の試み  
 ○長田 好広<sup>1</sup>、進藤 晃<sup>2</sup>、井出 睦<sup>3</sup>、前田 亮介<sup>4</sup>、大塚 渉<sup>4</sup>、黒木 洋美<sup>5</sup>、加藤 省吾<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>医療法人財団利定会 大久野病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>医療法人財団利定会 大久野病院、  
<sup>3</sup>社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 リハビリテーションセンター、  
<sup>4</sup>社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 リハビリテーション室、<sup>5</sup>株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション科、  
<sup>6</sup>東京大学大学院 工学系研究科
- 24-2 PCAPS(患者状態適応型パス)を用いた脳卒中に対するリハビリテーション療法の  
 標準化・可視化について  
 ○塩塚 優<sup>1</sup>、石川 清美<sup>1</sup>、萩原 尋子<sup>1</sup>、黒木 洋美<sup>1</sup>、井手 睦<sup>2</sup>、前田 亮介<sup>2</sup>、進藤 晃<sup>3</sup>、長田 好広<sup>3</sup>、  
 水流 聡子<sup>4</sup>、加藤 省吾<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院リハビリテーションセンター、  
<sup>3</sup>医療法人財団利定会 大久野病院、<sup>4</sup>東京大学大学院 工学系研究科

- 24-3 安全ラウンドでわかった慣例化されたEOG滅菌の削減への取り組み  
○石川 泰子<sup>1</sup>、上野 一枝<sup>1,2</sup>、岩川 浩美<sup>3</sup>、上道 知之<sup>4</sup>、高見 宏<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>公立学校共済組合 近畿中央病院 医療安全管理室、<sup>2</sup>感染管理認定看護師、<sup>3</sup>中央材料室・手術室師長、<sup>4</sup>医務局 医療安全管理室
- 24-4 大腸内視鏡検査の円滑な進捗管理のための業務改善  
○紙谷 あゆ美、加藤 希衣子、西川 智恵、大保 浩二、高梨 愛、今井 義浩、佐々木 花奈、牧野 博之  
済生会横浜市東部病院 内視鏡センター
- 24-5 褥瘡発生を防ぐポジショニングの標準化  
○岩戸 綾美、柳田 和宏、黒木 誠、横山 文子、吉本 龍司、平田 耕太郎  
平田東九州病院
- 24-6 電子カルテ患者同時展開に伴う危険性と禁止がもたらす効果  
○富井 啓介、村上 明美、稲岡 佳子  
神戸市立医療センター中央市民病院 医療安全管理室

17:30~18:24

一般口演 25 『針刺し・感染対策』

座長：大曲 貴夫（独立行政法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター）

- 25-1 八王子医療センターにおける針刺し損傷後の対応-無記名自記入式調査の結果  
○山田 加奈子<sup>1</sup>、藤井 毅<sup>1,2</sup>、青木 昭子<sup>3</sup>、山田 陽子<sup>1</sup>、近江 明文<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>東京医科大学八王子医療センター 感染制御部、<sup>2</sup>東京医科大学八王子医療センター 感染症科、<sup>3</sup>東京医科大学八王子医療センター 総合診療科、<sup>4</sup>東京医科大学八王子医療センター 麻酔科
- 25-2 安全針捨てボトル(AHAボトル)の改良とその評価  
○平野 和裕<sup>1</sup>、吉田 ひとみ<sup>2</sup>、山口 今日子<sup>2</sup>、後藤 昌昭<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>高邦会 柳川リハビリテーション病院 薬剤部、<sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院 医療安全対策室
- 25-3 HBs抗原、HCV抗体陽性不告知で精密検査を要する症例を選び出し通知する試み  
○國本 雅之<sup>1</sup>、長谷部 千登美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>旭川赤十字病院 地域連携科、<sup>2</sup>旭川赤十字病院 消化器内科
- 25-4 チームワークで高める感染対策、ユニットベースドプログラムとクロスモニタリングの試み  
○中澤 靖、美澤 さやか、斉藤 彩子、美島 路恵、北村 好申、田村 卓、近藤 和典  
東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策室
- 25-5 手指衛生行動の改善に向けた取り組み  
○水上 由美子<sup>1</sup>、遠山 信幸<sup>2</sup>、亀森 康子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>自治医科大学附属さいたま医療センター 感染制御室、<sup>2</sup>自治医科大学附属さいたま医療センター 安全管理室
- 25-6 新生児・小児の輸血療法における血液製剤分割運用の取組み  
○松岡 ひとみ<sup>1</sup>、栗田 哲至<sup>1</sup>、弘島 大輔<sup>1</sup>、梶間 弘美<sup>1</sup>、米川 修<sup>2</sup>、中山 理<sup>3</sup>、小久保 荘太郎<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>聖隷浜松病院 臨床検査部、<sup>2</sup>聖隷浜松病院 臨床検査科、<sup>3</sup>聖隷浜松病院 産婦人科、<sup>4</sup>聖隷浜松病院 輸血センター